

「お茶の歴史散歩」第6回のお知らせ

「急須を考える」

講師 安部 清子氏 入間市博物館 学芸員

平成5年から現在まで、煎茶道具コレクションの調査研究公開や、茶会（煎茶抹茶）の企画運営などに従事する。主な展示「煎茶の世界」「煎茶伝来」「館蔵煎茶道具」他。

今回の概要

ただ今、出光美術館では「三代山田常山展」（2.19日まで）で急須が展示され、愛知県陶磁資料館では「急須いろいろ一河野百壺斎コレクション一展」（2.25～3.25）が開催予定です。そこで今回は、入間市博物館の学芸員・安部様に館蔵の急須について、実物を扱う学芸員でなくては見えない見方で、時代・作家別の特徴、茶こし穴の様子をお話しいただき、さらに狭山産深蒸煎茶を使用し、3種類の淹れ方を実験。特に、一煎目の茶の出方（色・香・味）に違いがあるのか、茶葉との関係について探ります。

また会のメンバーで急須を持ち寄って、急須の種類の違いによる茶の味の違いを実際に試すなど、急須について検討し語り合いたいと思います。

日時) 2012年2月18日(土) 13:30～16:30

場所) 大妻女子大学 大学校舎B棟 836号実習室

東京都千代田区三番町12

スケジュール) 13:00 開場、受付
13:30 講演
15:00 休憩
15:20 茶話会・自慢のお茶を飲みながら
16:30 終了

参加費) 2000円(学生500円)

定員) 60名

申込先) お茶の歴史散歩の会 E-mail furuhashi@zb.wakwak.com

*参加受諾の返信メールを送りますので、ご確認ください。

持ち物) 各自の湯飲み茶碗、ふきん、筆記用具

*ボランティア募集。

参加の方で、茶話会にて紹介したいお茶や見せたい急須やお茶の淹れ方なども募集します。希望者は申込時に持参の茶名(茶種は自由)も含めて記入をお願いします。

